

特定非営利活動法人 レキオウイングス

代表者 安和 朝忠

日本所在地

住所：〒901-2121

沖縄県浦添市内間2丁目21-30 405

TEL：098-943-8919

担当者：先家 菜子

フィリピン所在地

住所：Jover St. Brgy.IV, Victorias City, Negros Occ.

TEL：034-399-3443

担当者：KATHLYNT GUBATAYAO

(英・タガログ・イロンゴ)

ウェブサイト <http://lequiowings.org/> その他SNS等  <https://www.facebook.com/lequiowings>.

AETproject/ (Agri-Eco-Tourism Enhancement project) <https://www.facebook.com/tori.victorias.3> (Tori Victorias)

団体目的

レキオウイングスは、「沖縄と世界をつなぎ、共創社会の実現を目指す」をビジョンに掲げ、沖縄県民をはじめとする地球市民を対象に、沖縄が世界に開かれた交流と共生の島として、沖縄が有する独自の文化・歴史、亜熱帯性、島嶼性に適合した特色ある技術やノウハウ及びわたしたちの経験やネットワークを活かした国際協力、国際交流、人材育成などに関する事業を行い、真の沖縄の自立に寄与することを目的に活動を展開しています。

設立背景

レキオウイングスは、沖縄と世界各地の人々・物を結びつける国際協力、国際交流、人材育成等の事業を通して、沖縄県の人的、経済的な真の自立に寄与することを目的に、青年海外協力隊OB・OGが中心となり設立されました。2011年にNPO法人化し、沖縄から得意分野を活かした国際協力を進め、国際協力を通じた地域おこしにつながる活動を展開しています。

フィリピン事業地

西ネグロス州ビクトリアス市



提案自治体南城市でも多くの人々がプロジェクトに係わる

事業概要

ビクトリアス市はサトウキビから転換した有機農業と観光を組み合わせたアグリエコツーリズム(AET)を最優先課題とした地域活性化に取り組んでおり南城市の合併後10年の経験と類似している。そこで南城市とレキオウイングスは南城市の経験をビクトリアス市に適用する「沖縄県南城市モデルを活用したビクトリアス市アグリビジネス/アグリエコツーリズム強化プロジェクト」によるフェーズⅠをスタートした。

フェーズⅠによってビクトリアス市において、政策面では、計画課がAETマネージメント体制の構築、市のブランドの決定、マスコットの作製、観光目的地の整備強化、広報の継続などひとつひとつの独立した事業としては成果を発現してきた。しかしながら、ビクトリアス市の総体としての地域創生のための開発優先課題において、地域の魅力を活かした中期的な計画や政策の企画・立案・実施・評価という面では、さらなる人材育成が必要とされている。観光面では、観光課が体制を整えながら観光資源調査や人材育成、イベントやPRを実施してきているが、観光客を呼び込む具体的な実践活動はまだ緒についていない。農産物生産面では、生産技術と有機農産物の栽培方法や土づくりのためのコンポスト技術をフェーズⅠに参画した2組合に支援してきたが、農業課がフェーズⅠの2組合をモデルにどのように生産から流通、販売までの有機農業を普及し、定着させていくかの方針が定められていない。農産物加工・流通面では、オーガニックマーケットを建設中という画期的な成果があったが、ビクトリアス市がどのように有機農産物の販売を安定させ、有機農業を発展させていくかの戦略がないため課題となっている。

こうした背景から、ビクトリアス市の政策面では、プライオリティアジェンダに基づく中期的で持続可能な政策実施能力の強化、農業面では、有機農業の普及と有機農産物の販売安定化のための取り組み、観光面では、人を呼び込む具体的な実践活動などが必要とされている。本事業を通じて育成された中核人材がビクトリアス市の自立発展モデルを提案できるよう(持続可能なまちづくりの推進力)になることを目標として事業を進めている。

団体構成員

日本事務所：有給専従5名
 フィリピン事務所：有給専従1名

収支実績

2017年4月～2018年3月
 収入：45,479,670円
 支出：41,524,758円

事業分野



コミュニティ



産業



人材



生活



金融



救援



地球環境



平和・政治



人権全般



その他

企業、大学、行政等との連携実績

連携年月	連携先	内容
2016年2月	外務省	日本NGO連携無償資金協力 「リサイクル物資輸送事業として南 城市からビクトリアス市へ消防車・ 救助艇の寄贈」
2017年6月、 11月	国際協力機構(JICA)	JICA課題別研修 「基礎教育における格差対策のため の教育行政強化」
2017年8月	南城市・伊江村・渡嘉敷 村広域連携事業	「アジアユース人材育成・ネット ワーク事業」
2018年2月	国際協力機構(JICA)	JICA青年研修 「フィリピン・アグリビジネス/ア グリエコツーリズム」
2017年4月～ 2020年3月	国際協力機構(JICA)	草の根技術協力事業(地域活性化特 別枠) 「南城市・ビクトリアス市の自立発 展のための地域活性化強化プロジェ クト」

活動への参加方法

- 会員制度
- インターン
- セミナー
- バザー(フェアトレード商品)

※詳細は団体へお問い合わせ下さい

活動風景



- 1 南城市にて加工品研修を学ぶ研修員ら
- 2 ビクトリアス市のアグリエコツーリズムを体験する沖縄県からの民間企業団
- 3 ビクトリアス市でアグリエコツーリズムを体験する南城市からの専門家
- 4 ビクトリアス市を対象とした企画策定セミナー

特定非営利活動法人 LOOB JAPAN

代表者 小林 幸恵

日本所在地

住所：〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻

町1-21-6 ソーシャルビジネスラボ

TEL：050-5899-2282

担当者：吉永 幸子

フィリピン所在地

住所：Lot23 Block15 NHA II, Mandurriao, Iloilo

City Philippines 5000

TEL：033-321-5776

担当者：小林 幸恵(日・英・ヒリガイノン)

ウェブサイト <http://www.loobinc.com>

その他SNS等  <https://www.facebook.com/pages/NGO-LOOB-Official/289830787698314>

団体目的

日本とフィリピンの子ども、青少年および一般社会人が、文化的かつ教育的な人的交流を通じ、国籍、年齢、性別、肌の色、信条を超えて相互理解と友好親善を深めると同時に、フィリピンの低所得者層を対象としたコミュニティ開発、教育・医療支援、環境保護、自立支援などの活動を推進し、奉仕精神を育て、地域の発展に寄与することを目指します。

設立背景

現代表が大学在学中の1995年に名古屋YMCAが主催するフィリピンワークキャンプに参加し、青少年交流と支援の大切を体感したことがきっかけでした。1998年にマニラに単身渡り、日系企業やNGOでの経験を経て、2001年にNGO法人を設立。「一方的な支援でなく、現地の人と共に学び成長する」をモットーに、国際ワークキャンプや研修事業による青少年育成とコミュニティ開発を実施しています。創立当初から現在まで、参加した日本とフィリピンのボランティア研修生は3,500人を超えました。

日本では2014年に特定非営利活動法人LOOB JAPANとして登記し、国内の啓蒙活動を行っています。

フィリピン事業地

フィリピン西ビサヤ地方イロイロ州・ギマラス州



事業概要

- (1) 途上国における地域協力・国際協力事業
- (2) 途上国の子ども達への教育・医療支援事業
- (3) 途上国の困難な状況にある地域・世帯への物資支援事業
- (4) 国際理解・青少年育成事業
- (5) その他目的を達成するための必要な事業

青少年育成とコミュニティ開発に向けた3つのEミッション

私たちは、精神的豊かさや地域の結ぶつきが社会の発展に最も重要であると考え、未来を創る子ども達へ教育的な活動を行い、日本とフィリピンの青少年育成を深め、さらに地域の生活改善に寄与することを社会的使命(ミッション)として活動しています。

1. Education for Kids (子どもに教育を!)
2. Experience for Youths (若者に経験を!)
3. Empowerment for Communities (コミュニティに力を!)

次世代のリーダーを育て、教育・環境・食・雇用の問題解決を目指す活動

イロイロ市を拠点に以下の青少年活動とコミュニティ開発を行っています。日本とフィリピンの青少年が中心となり、現地の教育・環境・食・雇用の問題を解決していくことを目指しています。

- ① 教育サポート (80人) / インフォーマル教育活動(動員数500人)
- ② 国際ワークキャンプ&スタディツアー研修(14回)
- ③ フェアトレードを通じた大人への生計支援(年140万円規模)
- ④ 環境保護活動(マングローブ、サンゴの植林)

社会的課題の解決を図るための持続可能な事業

寄付や助成金に頼らず支援活動が続けるため、英語研修やシェアハウスをソーシャルビジネスとして運営しています。現地NGOの運営経験を共有することで国際支援に関心のある若者へのエンパワーメントと収益確保を同時に実現しています。ワンデーツアーやインターンで参加可能ですので、お気軽にお問い合わせ下さい。

先住民の女性の生計向上のため、伝統的なカゴのバッグを復活するトレーニングを実施しました

団体構成員

日本事務所：有給非専従2名、無給非専従3名
 フィリピン事務所：有給専従6名(内日本人1名)、無給非専従日本人4名

収支実績

2017年1月～2017年12月

収入：7,840,786円

支出：6,369,922円

事業分野



コミュニティ



産業



人材



生活



金融



救援



地球環境



平和・政治



人権全般



その他

企業、大学、行政等との連携実績

連携年月	連携先	内容
2017年度	国際協力機構(JICA) 世界の人々のための基金	世界の人々のための基金 「先住民の子ども達の給食活動および女性向け工芸品制作のトレーニング実施」
2018年3月	大阪教育大学MERRY ワークキャンプ	大学生と現地ユースによる教育支援プロジェクト
2018年8月	国際協力機構(JICA)	教師海外研修で、小学校訪問や貧困地域での子どもの活動視察
2018年12月	官民連携ネットワーク Crossover	「参加型」フィリピンスタディ リップ～官僚と学生の狭間から見えた「発展途上国」～受入れ
2018年12月 2019年1月	北見藤女子高等学校 旭川藤女子高等学校	語学研修やボランティア活動、現地家庭でのホームステイ受け入れ

活動への参加方法

- 会員制度
 - 会員以外の支援者制度(ドナー、サポーター等)
 - 物品寄付
 - ボランティア
 - インターン
 - シンポジウム
 - セミナー
 - 報告会、学習会
 - パネル、写真展
 - ワークキャンプ
 - スタディーツアー
 - バザー(フェアトレード商品購入含む)
- ※詳細は団体へお問い合わせ下さい



- 1 ごみ山で10年以上続けているアップサイクル雑貨。H29 環境省グッドドライブアワードを受賞しました!
- 2 ボランティア&インターン生募集! シェアハウスで現地スタッフと協働生活しながら支援活動に従事します
- 3 環境天然資源省と共にギマラス島でサンゴ礁の植林を実施。日本のボランティアもたくさん参加しました
- 4 週末の英語活動、キッズキャンプ、高校生リーダー育成などで子ども達のライフスキルを広げています
- 5 貧困地域の子ども達80名の就学支援は、日本からの教育サポート会員とソーシャルビジネスの収益で実現

活動風景